

授業科目名	風土と場所文化	単位数	2単位
担当教員名	関根 達郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
地域の成り立ちと地域学とは何かを知ることと、学んだことを生かして自分の地域を知ろうとすること、調べようとすることを目標とする。			
授業の概要			
地域の成り立ちや地域学について、テキストの視点で学習し、自分にとっての「地域とは何か?」「自分の地域を見つめて調査すること」を目標に自分にとっての風土や場所文化を知り、そのことから自分について見つめ直していく。			
授業計画			
第1回： ガイダンス 第2回： 地域のとらえ方 3つの視角 第3回： 地域と生命① 弥生時代の地域・江戸時代までの地域 第4回： 地域と生命② 村と町と都市・道の役割（事例を読み取る） 第5回： 地域と人間社会① 地域と人口の関係（事例を読み取る） 第6回： 地域と人間社会② 国々と国家統一 第7回： 地域と人間社会③ 家制度と村 第8回： 地域と人間社会④ 町と都市 近代国家と地方自治体 第9回： 歴史と文化① 文化 第10回： 歴史と文化② 歴史と文化と信仰 第11回： 歴史と文化③ 歴史をたどる 第12回： 変容と私たち① どんな変容があるのか 第13回： 変容と私たち② 現代とこれから 第14回： 地域学と私たちの未来 自分とこれからの地域のあり方を構想する。 第15回： まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
山下 祐介（2021）『地域学入門（ちくま新書）』筑摩書房、978-4-480-07429-4			
参考書・参考資料等			
・ 山下祐介（2020）『地域学をはじめよう（岩波ジュニア新書 927）』岩波書店、978-4005009275 ・ 山崎義人・清野隆・柏崎梢・野田満（2021）『はじめてのまちづくり学』学芸出版社、978-4-7615-2781-5 ・ 日本経済新聞社地域報道センター（編集）（2022）『データで読む地域再生 「強い県・強い市町村」の秘密を探る』日経BP 日本経済新聞出版、978-4296114900			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			